

建設水道常任委員会及び決算審査特別委員会（第四分科会）

平成26年6月16日（月曜日）午前10時開会

出席委員（7名）

委員長	眞壁俊郎君	副委員長	松田寛人君
委員	佐藤一則君	委員	吉成伸一君
委員	相馬義一君	委員	植木弘行君

欠席委員（なし）

紹介議員（なし）

説明のための出席者

建設部長	若目田好一君	都市計画課長	君島勝君
都市計画課長補佐	平石敬雄君	都市計画課都市計画係長	北村議徳君
都市計画課開発指導係長	押久保昭君	都市計画課主査(係長級)	田中和広君
都市整備課長	松本正彦君	都市整備課長補佐兼建築係長	久留生利美君
都市整備課都市整備係長	浅賀保幸君	都市整備課住宅係長	江連宣仁君
道路課長	邊見修君	道路課長補佐兼建築係長	大木基君
道路課管理係長	遅沢友則君	道路課維持係長	君島幹夫君
道路課用地係長	渡邊晶子君	道路課河川係長	金子嘉君
建築指導課長	中村誠君	建築指導課長補佐兼審査係長	鈴木幸浩君
建築指導課指導係長	亀田康博君	上下水道部長	須藤清隆君
水道課長補佐兼黒磯・塩原事業所長	黄木伸一君	水道課水総務係長	相馬文彦君
水道課営業係長	小平裕二君	水道課建設係長	増子芳典君
水道課施設管理係長	君島隆君	下水道課長	久利生元君

下水道課長  
補佐兼  
施設係長  
室 井 正 幸 君

下水道課長  
普及係  
関 谷 浩 行 君

下水道課長  
管理係  
伊 藤 良 司 君

下水道課  
建設係  
武 藤 泰 治 君

#### 出席議会事務局職員

書 記 人 見 栄 作 君

#### 議事日程

##### 1. 開 会

##### 2. 委員長あいさつ

##### 3. 審査事項

[上下水道部]

- ・上下水道部長あいさつ

[水道課]

- ・職員紹介（自己紹介）

[下水道課]

- ・職員紹介（自己紹介）

[建設部]

- ・建設部長あいさつ

[都市計画課]

- ・職員紹介（自己紹介）

##### ■予算審査

- ・議案第42号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）

[都市整備課]

- ・職員紹介（自己紹介）

[道路課]

- ・職員紹介（自己紹介）
- ・議案第47号 市道路線の認定及び廃止について

[建築指導課]

- ・職員紹介（自己紹介）

##### 4. その他

##### 5. 閉 会

開会 午前10時00分

◎開会及び開議の宣告

○眞壁委員長 それでは、ただいまから建設水道常任委員会を開会いたします。

順次次第により進めてまいります。



◎上下水道部の審査

○眞壁委員長 初めに、須藤上下水道部長からご挨拶をお願いいたします。

○上下水道部長 (挨拶。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。



◎水道課の審査

○眞壁委員長 次に、職員の紹介に移ります。

水道課の皆様がお見えですので、今後説明員として委員会に出席していただく皆様から自己紹介をいただきたいと思います。

課長からお願いします。

(水道課出席説明員自己紹介。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

それでは、水道課の審査に入りたいと思いますが、今回水道課関係の付託案件はございません。

その他に入ります。

その他で何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○眞壁委員長 その他ないので、水道課の審査を終了いたします。

お疲れさまでございました。

ここで執行部入れかえのため、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時03分

再開 午前10時04分

○眞壁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。



◎下水道課の審査

○眞壁委員長 下水道課の皆様がお見えですので、今後説明員として委員会に出席いただく皆様から自己紹介をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

では、課長のほうから。

(下水道課出席説明員自己紹介。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

それでは、下水道課の審査に入りたいと思いますが、今回下水道課関係の付託案件はございません。

その他に入ります。

その他で何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○眞壁委員長 その他ないので、下水道課の審査を終了したいと思います。

お疲れさまでございました。

以上で、上下水道部の審査が終了となります。

ありがとうございました。

執行部入れかえのため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時05分

再開 午前10時07分

○眞壁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

◇

◎建設部の審査

○眞壁委員長 初めに、若目田部長からご挨拶をお願いいたします。

○若目田建設部長 (挨拶。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

◇

◎都市計画課の審査

○眞壁委員長 次に、職員の紹介に移ります。

今後説明員として委員会に出席をしていただく皆様から自己紹介をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(都市計画課出席説明員自己紹介。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

それでは、都市計画課の審査に入ります。

◇

◎議案第42号の上程、説明、質

疑、討論、採決

○眞壁委員長 今回、都市計画課関係の付託案件はございませんので、これより予算審査特別委員会第四分科会に切りかえて審査を行います。

議案第42号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算(第2号)を議題といたします。

執行部の説明をお願いいたします。

課長。

○君島都市計画課長 (議案第42号について説明。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。

各委員から質疑、ご意見等をお受けいたします。佐藤委員。

○佐藤委員 ただいま説明ありました那須塩原駅西口周辺の土地利用支援業務ということでございますが、どのような支援にかかわってくるのかお伺いをしたいと思います。

○眞壁委員長 課長。

○君島都市計画課長 本業務の内容、主にどんなことを行うかということだと思いますが、今回の支援業務につきましては、土地利用にかかわりますコンセプトづくり、西口をどんなふうにつくっていくかコンセプトづくりや関係事業者との協議等、これは市と開発等を行うデベロッパー等を相手に協議を進めたいというふうに考えておりますが、その間に入ってコーディネートを行ってもらい、そういった専門的なそのノウハウを持った業者の方にコーディネートを行ってもらいというような業務が主な内容でございます。

○眞壁委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 そうすると、コーディネートというか、見つけるということでもありますから、コンサル的なものと考えてよろしいんですか。

○眞壁委員長 課長。

○君島都市計画課長 そのとおりでございます。

○眞壁委員長 佐藤委員。

○佐藤委員 その業者というのも決定されているのでしょうか。

○眞壁委員長 君島課長。

○君島都市計画課長 事業の目的に沿った総合的な支援につきまして、専門的な見地から行うことのできるノウハウを持った業者を契約相手としたいというふうには考えておりますが、現在のところ相手がどこかというところまではまだ決まってお

りません。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 今回のこの委託料に関してなんですが、343万5,000円ということですが、これについては、一般財源だと思うんですが、ほかの補助的なものから予算を引っ張ってくるということではできなかったということなんですか。

○眞壁委員長 君島課長。

○君島都市計画課長 吉成委員のおっしゃられるとおり、補助メニュー等がなかったものですから一般財源での対応ということでございます。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 以前に非常に雑ではありましたが、西口、北口を含めてイメージパース的なものを示されたことがあって、地元関係地権者に説明もあったわけですね。それらについては、建設部内で若手の人たちが集まって計画を立てた経緯がありますけれども、その流れからあのパースができたのかと思うんですが、今回はまだそのパースとは全く関係なく、前回示されたものというのはいま既に消滅したということになるんでしょうか。あわせてお聞かせください。

○眞壁委員長 君島課長。

○君島都市計画課長 直接的な関係というのはいないんですけど、こういうイメージで那須塩原駅前ができたらいいなというふうにつくったものですので、そういった那須地域の玄関口にふさわしいまちづくりのイメージということですので、できるだけ本事業でもそういった上で参考になるところは取り入れていきたいというふうには考えております。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 補足説明をさせていただきます。

本業務におきましては、今まで職員でいろいろな研究をやったりいろいろな方向というのを検討

してきたんですが、なかなか前に進まないというふうなことがございまして、今回まちづくりのアドバイザーの朝比奈先生がアドバイザーということで、何回か那須塩原駅西口についてもいろいろな話をさせていただいております。

そういった中で、先ほど庁舎の話というのがありましたけれども、そういった中で、どういうふうなまちづくりをしていくのがいいか、コンセプトと言いましたけれども、ちょっと聞きなれないという、方向性というか方針ということで、これを決めるに当たっては、そのアドバイザーだけではなくて、デベロッパー、開発事業者、実績のある開発事業者いろいろなところ手がけておりますので、そういったデベロッパーとのヒアリング、数社ほど予定をしておまして、数社からそういったヒアリングを受けて、この那須塩原駅だったらこういうふうなまちづくりがいいんじゃないですか、こういうことだったらできるのではないのかという提案を受けて、それらも参考にして委託した業者と市とそのデベロッパーも入るかどうかというのはまた今後のあれなんですけど、そういった中で、ここだったらこういうふうな形のまちづくりがいいでしょうという中で、市のほうでそういったコンセプトとか今後のどういうふうな事業を進めていくかというふうなのをまとめるというのが今回の業務でありまして、そういった今度できたものについては、今後黒磯駅前で補助をやっていますけれども、まち交でやっていますけれども、そういったものを入れるか、どういった事業を入れるかということで、市で整備すべき部分、公共施設、こういった市が行うべき施設、あとは民間事業者入ってくるのかどうかまだわかりませんが、できるだけ入ってもらうような営業をして、こういった営業支援というのも今回の業務委託の中にも入っております、そういった支援

を受けながら、市も一緒になった営業をして、民間も入れてもらうというふうな形に持っていかないとなかなか進まないのではないかというふうなことで、今回はそういった支援もコンセプトとか対応とかそういった今後の方向性まで含めてやりたいなど、一緒に今年度いっぱいかけてそれをして、もし補助事業を入れるということになれば、27年度からというのはちょっと無理かと思いますので、27年に要望といいますか、手を挙げてやりたいということになれば、28年あたりから着手になれば通常リノベでもなるかどうかわかりません。リノベはないので、そういったまち整備ということになれば5カ年というのが一般的ですので、28年から始めれば32年あたりにできるかなというふうなことで、ざっくりとしたスケジュールについては考えております。

庁舎が30とかになりますけれども、タイミングとしては一致はしませんけれども、並行して進められるかなということで、特に市でやる部分につきましてはイメージ、先ほどご指摘ございましたけれども、駅前広場の再整備、その辺についてはイメージパースのような形でできればいいかと思っておりますが、確かにイメージパースは夢ですから、ああいったものにいずれはなるとは限りませんが、そういったものにできれば近づけるような形で少しでも進められればというふうに考えているところでございます。

ちょっと長くなりましたが、以上です。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 そうすると、今の部長の補足説明から察するところ、やはり新庁舎というのがかなり大きなウエートを占めて、今回のこういった委託事業になったのかという気がするんですが、例えば今回伊藤議員のほうから都市計画道路3・3・4号東那須野東通りの質問なんかも出ていましたけ

れども、そういったものも含めて提案をしてもらうような形を、要は今内容としてはこういったものがありますよということで、委託の内容としてはということの説明は受けたんですが、そういったものまで含めて提案してもらうような形になるんですか。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 当然まちづくりの道路が基本でございますので、そういったまちづくりをするには、こういう道路も必要でしょうねという話は当然出てくるかと思えます。それを事業主体、県のほうでやってもらうように今お願いはしているところでございますが、その辺はどうなのかというのはわかりません。あとは整備の時期の問題です。これらもあるかと思うんですが、そういった道路の必要性というのは、当然出てくるというふうには考えております。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 最後に1点聞きたいんですが、こういった要はコンサルに依頼をして計画を立てるというのは、いろいろところで当然やられてきていますし、本市においてもそういう手法を用いてやってきたという実績はもちろんあるとは思いますが、そういった中でいつも思うんですけれども、やはりその地域に合った例えば開発の仕方なんかとかそういうものは非常に大切だと思うんです。ということはどういうことかということ、この計画自体が今年度いっぱい当然できてくるんでしょうけれども、その間にその委託会社が例えば地域を回って情報収集するとか、そういったこまめな会社なのかどうか、その辺もぜひ考慮に入れていただいて、地域の人たちの考えというよりも、地域の人たちの生活状況とか、そういったものをぜひ計画の中には反映してほしいという気がするんですが、いかがでしょうか。

○眞壁委員長 課長。

○君島都市計画課長 今、まさに言われました内容につきましても、当然一番大きなウェイトポイントになっているかと思っておりますので、そういったものを十分考慮しながら進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○眞壁委員長 ほかにございますか。

○松田副委員長 委員長がかわりますので、よろしくをお願いします。

○眞壁委員 ちょっと何点か今の計画についてお話を聞きしたいと思います。

まず、西口、また北口という形で開発をしてきて100億ぐらいかかっているんですけど、そういうお金がかかってきて、今現在なかなかあそこも住宅も建たないというような状況なんですけれども、市としては何が一番ネックになって開発が進まないと思っているんですか。まずその点をお伺いしたいです。

○松田副委員長 若目田部長。

○若目田建設部長 西地区につきましては、随分住宅が建っていますので、かなりもう埋まっているというような状況でございますが、あとの北地区につきましては、25年完了ですが、まだ張りついてないというような状況でございます。

何か商業施設、住宅は今少しずつ建っているかと思っておりますので、このままだと住宅は建つとは思いますが、商業施設とか業務施設がほとんどなくて、駐車場が多いというのが現状です。この原因は何かということだと思うんですが、やはりそれらの施設が一番売れなかったというのは、土地の値段の問題というのも一つあったかと思うんですが、今はかなり下がっていますので、その土地の問題というのはかなり低くなっているとは思いますが、要するに商売をしたときに利用し

てくれる人がそれが商売になるかどうかというのが一番の業務施設の場合にはネックだと思いますので、人が集まるといいますか、ただ通勤だけの規模とやはりそういったメリットがないのかというふうな商売上なると思っておりますので、そういった観光施設の拠点になるような、それとあとはその那須塩原のイメージづくりといいますか、そういったイメージづくりのために看板等の屋外広告物の規制等もやろうというふうなことで始まっていますけれども、そういったのがひとつかなというふうには考えております。

○松田副委員長 委員長。

○眞壁委員 民間が入ってくるというのはやはり一番のことなんだと思うんです。これ入ってこないと実際に開発しても進んでいかないのかと思うんですけれども、その辺で民間が入ってくるようなことでどんなことを市として一番力を入れたいのか、これからこの計画立ててやっていくんだと思うんですけれども、どんな形でやっていくというようなイメージ的なことなんでしょうか。

○松田副委員長 部長。

○若目田建設部長 まだそれについては今後ヒアリングをやったりというふうな中で方向性を決めていくんですが、今まで出ているアドバイザーさんなんかの話で出ているのは、今回6次産業化ということで話も出ましたが、那須塩原市のブランド品、ワインとかチーズとかというふうな話も出ている中で、そういったものがあそこの駅前にそういった施設があつて、例えばとても非常においしい有名なシェフさんがいるらしいんですが、そういった方のアドバイスを受けながら、またはそういった人があそこに店舗を出してくれるとか、そういったものを目玉となるようなものができればそれに付随して周りに施設もほかの施設もできるんだと思いますし、そういったどこにでもあると

いうのでなくて、ブランドイメージのそういった施設が核となってできれば広がっていくのではないかとこのように考えています。

○松田副委員長 委員長。

○眞壁委員 委員会で視察なんかもしてきて私なんかも駅前のところ結構マンション、下はいろいろな公共施設なんかが入っていて上にマンションなんていうところが結構あったんです。そんなことでも何かちょっと考えているような、どう考えているんですか。

○松田副委員長 部長。

○若目田建設部長 どこにでもあるようなそういったのではなくて、今委員長がおっしゃられましたのは、結構あっちこっちにあると思うんです。そういった下がテナントで上がマンションと、それは定住という意味で人が住み着くという意味ではいいかもしれませんが、マンションはいいかもしれませんが、今まで副市長あたりと話してきた那須塩原駅西口の建物というのは、そういった中層とかそういうのではなくて、一戸建てで区画の大きい高級感のある建物のほうがいいのではないかとこのように話では話してきましたが、それは今後どういうふうにまちづくりするかというのは、先ほど言いましたコンセプトをつかってこういったまちにしていこうというような形で、そうするとそれなりの規制もかけなくてはならないという、ある程度一区画の大きさはこれだけ以上とか、そういった地区計画的な規制も場合によっては必要になってくるというふうに考えていますので、それは今後検討課題かというふうに思っています。

○松田副委員長 眞壁委員長。

○眞壁委員長 今ちょっと規制の話が出たのであれなんですけれども、駅前に畑だったか田だったか、そういうものが見当たるとは、その辺ちょっと

とどんな考えがあるのかお聞きします。

○松田副委員長 部長。

○若目田建設部長 確かに駅前通りに田んぼがございます。その土地については、今後の商業施設を誘導するための有効な土地であるというふうに考えておまして、一部の地権者については、そういった商業施設が来てくれるんだっただけひ協力したいというふうに言っている人も何人も話を聞いておりますので、そういった施設が来ないから現在そういう状況になっている、宅地化にすると当然税金高くなりますから、そういう意味で農地なのではないかとこのように私は考えております。

○松田副委員長 君島課長。

○君島都市計画課長 今回の一応支援業務の中でその駅前にあいている牧草畑、畑とか田んぼなんかもありますので、その辺も利用を図っていく上で検討の中に一番重要なところとして入れて、その辺を大きく取り上げてもらってやっていきたいというふうには一応考えております。

○松田副委員長 それでは、交代させていただきます。

○眞壁委員長 それでは、進行かわりました。ほかにございますか。

〔発言する人なし〕

○眞壁委員長 よろしいですか。

ないようですので、質疑、ご意見等を終了したいと思います。異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 異議はないものと認めます。

よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 ないようですので、討論を終結したいと思います。異議ございませんか。



〔「異議なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 異議がないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決をいたします。

議案第42号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 議案第42号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、その他に入ります。

その他で何かございますか。

○君島都市計画課長 今月の25日、議会終了した次の日ですけれども、400号のトンネル、第二トンネルのほうは順調に工事が進んでおりまして、大田原土木のほうで現地視察の機会をつくっていただきまして、市の方、それから議会の皆様にもぜひ現地のほうを見ていただければということで案内がありまして、25日の午前中になります。常任委員会のほうにも案内をさせていただいているところですので、見ていただければぜひよろしくお願いをしたいということで考えております。

○眞壁委員長 そのほかにごございますか。

〔発言する人なし〕

○眞壁委員長 よろしいですか。

その他ないようですので、都市計画課の審査を終了いたします。

大変お疲れさまでございました。

ここで執行部入れかえのため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時33分

再開 午前10時34分

○眞壁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

◇

### ◎都市整備課の審査

○眞壁委員長 都市整備課の皆様がお見えです。

今後説明員として委員会に出席をしていただく皆様から自己紹介をお願いしたいと思えます。よろしくお願いします。

課長のほうからお願いします。

（都市整備課出席説明員自己紹介。）

○眞壁委員長 ありがとうございます。

それでは、都市整備課の審査に入りたいと思いますが、今回都市整備課の関係の付託案件はございません。

その他に入ります。

その他で何かございますか。

部長。

○若目建設部長 それでは、1件ご報告させていただきたい件がございます。

というのは、先ほど申しました黒磯駅前都市再生整備計画事業でございますが、この事業の中心に位置する県道黒磯停車場線、都市計画道路ができますと都市計画道3・3・6号黒磯本通りでございますが、延長で300m弱、270mございますが、この県道の部分につきましては、平成13、4年のころ25mに拡幅するという話が地元で了解が得られなくて頓挫したというような経緯がございます。

そういった中でいろいろ協議を進めてきた中で、お店が当たらない、要するに移転にならないような形の整備をお願いできればというような中で協議を進めてございまして、現道での道路の整備ということで現在計画といたしますか、県と協議をし

ておりまして、現道の中でやっていただけるというふうに考えておりますが、その辺に当たっては、正式に要望書を出していただきたいということで、今月20日金曜日ですが、地元の3団体ございますが、地元は商店会の本一会、駅前商店会とあと黒磯駅前活性化委員会、これの3団体としての要望、この要望につきましては、現道内での電線の地中化と道路と歩道の高質化ということのそれが1点、あとは都市計画25mで規制がかかっていますので、それを予定ですと現在16.8mぐらいの幅員になりますが、その16.8mの半端な幅員では普通都市計画決定しないということなので、現道内での16mという形で進んでおりますが、16mに変更をするというふうな、変更してほしいというような要望を20日に県道整備部長対応でございますが、県の部長のほうに行ってお願いをしてくるというようなことございまして、あわせて市としても要望をしたいということで、先ほど言いました現道内での電線の地中化と道路の高質化、さらに黒磯本道については、先ほど言いました幅員の変更、さらにこれなんです、旧4号線ございます。駐車場になっているところですが、そこから先へ都市計画道路でやはりここも25mで計画決定をしております、延長で1,540mあるんですが、これにつきましては、都市計画道路3・3・2号、黒磯那須北線までずっと現在の新線のところからこう行っていったものを板室街道に当たって曲がって3・3・2まで行っている計画でございますが、これにつきましては、もうなかなか事業化は難しいだろうと、相当の家もかかりますので、その道路をつくるのではなくて、その道路は都市計画上は廃止、その部分につきましては、廃止をして、そのかわりに黒磯駅前のほうにアクセスできる歩道の整備ですか、現在ある市道を整備して歩道、歩行者の空間を確保して駅前のほうに来てもらうよ

うな歩道新線とか、あとは上黒磯、黒磯公園のほうの……。

〔「上黒磯新線ですね」と言う人あり〕

○若目建設部長 福島病院の前ですね、もとの本町にあったところですが、あそこの道路なんかを歩道を、人が歩ける空間をきちんとしたブロックを入れるのではなくて、幅を確保して色をつけると、あとは側溝についても整備するという形の整備、あとは板室街道ですね、これについても歩道がかなりあそこは歩道も狭くて段差がついているということで、ちょっと芳しくないの、あれらは県ですけれども、県のほうにやっていただくようなことで考えておりまして、それらについては、今後県のほうで都市計画の廃止、予定ですと、スケジュール的に来年の7月あたりということで今協議を進めておりますが、いつになるかちょっとわからないですが、順調にいけば来年の7月あたりに計画が変更される予定でございますので、それらについての今度地元に対しての説明会をこれから開いて了解を、理解を得なければならないわけですが、それについてとりあえず20日に県のほうに要望に行くということでございます。

私のほうは以上でございます。

○眞壁委員長 ほかにございますか。

吉成委員。

○吉成委員 私も議員になったときからの懸案でしたけれども、一時は今の今回のこのリノベーション事業ですけれども、その前に先ほど説明のとおり、県のほうの予算までついて整備がなされる予定であったと、そのときは25mということだったんですけれども、今回現状のままの最終的には16mという話がありましたが、結局それらに関しては、市のほうの指導でこういう要望書を出さないと結局はあそこの駅前の活性化再生事業はできませんよということで、アドバイスのもとに今回要

望書を出すということによろしいんですか。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 これにつきましては、市のほうの指導ということではなくて、県と協議している中で、大田原土木事務所と協議をしている、また県の本庁の都市計画課と協議しているんですが、そういった中で、県のほうからそういったことであれば要望書を出していただいたほうが通りがいいといいますか、通じがいいというようなことで協議をしまして、要望をするものでございます。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 ということは、地域の要望が現状の幅員で整備をしてほしいという要望があったので要望しようと、そのためには県に要望書を出さなくてはだめだという理解でいいんですか。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 当然地元としては、現道内での整備がいいというような結論になっていますので、それに基いてただ何もないということになると、県としてもそれで果たしていいのかどうかというのが県はかなり慎重にやりますので、そういった中でこういうふうな要望があったので、こういうふうな都市計画の変更もするし、こういう整備もするというふうな裏づけにしたいというのが要望、整備してもらったほうがいいのではないかとこのふうなことだと思います。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 その要望書を出すに当たっては、完全に地域の住民の人たちの了解を得て出すんだということによろしいんですね。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 当然そのとおりでございます。押しつけではございません。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 それが確認できれば同じような……。

〔「失敗だよな」と言う人あり〕

○吉成委員 ならないのが一番だと思って、ちょっと確認させていただきました。

○眞壁委員長 相馬委員。

○相馬委員 私も同じ確認なんですけど、地元の3団体がそういった希望があるということは、それはわかるんですけど、今回のリノベーション事業をやるに当たって、35億もかけてやるに当たって、現状の幅員を希望しているということは、それはそれであれなんですけれども、本当に地域のご意見なんでしょうか。

現実にはその団体以外の方の35億かけてリノベーション事業をやるのはいいけれども、本当にそれで活性化になるのかという意見が多々聞こえるんですよ。それが先ほど吉成委員も申し上げましたが、以前にそういった経緯があつて頓挫した、事業は違いますけれども、経緯がある中で、まだ地元の3団体がそれでいいというそれ以上は我々は協力しませんよということ逆を言ってきた、その辺は市として事業を展開するに当たって、このままではいけませんよ、地中化だけでいいんですかということ、強く申し上げたことはあるでしょうか。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 地元でイメージしているあその通りについては、道路を広げるということではなくて、アーケードを撤去して昭和のまち並みのきれいなイメージにするということでありまして、決して道路を広げてほしいというようなことではなくて、一部広げてほしいという人も中にはいるかもしれません。ただ、広げるにしても、前に失敗したように3mも4mもということはできないと思いますし、逆に今度1m、2mぐらいかけてもそれだけの事業の投資効果が疑問だということで、それでは県のほうでも事業には入れないとい

うのが協議をしている中での経過でございまして、一時18mでどうだというふうな話もしました。18mという今16.8ですから片側60cmぐらいしか変わらない、そうすると片側60cmではそれだけ金を入れてそれだけ広げた意味があるのか、これは事業としては成り立たないでしょうというような形であれば、現道の幅員できれいに整備をするんだと、歩道についても今の幅よりももう少し広く、あそこは車道が広いんですね。車道が広いので、歩道についてももう少しあと1m程度は広くできるだろうという中で、今のはやりのバリアフリー的な段差をなくしてきれいな歩道にできるというようなことで考えておりますので、そういった意味で市としてもそのほうがいいだろうというふうに考えている中での要望でございます。

以上です。

○眞壁委員長 相馬委員。

○相馬委員 確かに駅前のお店を構えている人たちだけのご意見の中ではそういう方針でいくというのは理解もするんですが、その周りの方々も含めた中で、そのような意見が意見でまとまっているのならそれはそれでいいですけども、ただそれだけの意見でないような意見も私ちょっと耳にしておるものですから、その辺で何度も言うようですけれども、リノベーション事業で35億かけてやるのは、それはそれで活性化になるかと思いますが、果たして本当にその効果のできるような事業を逆にしてもらいたいんですね。しっかりとその辺やっていただきたいと思います。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 確かに整備をすれば活性化になるかということこれはそういうことではないと思います。実際に今まで副市長が言っているように、ほかのところなんかでは整備をしても活性化にならないので、黒磯はその轍を踏まないようにして

何とかしようということで、その活性化を進めるにはどうしたらいいかという中で、今度協議会を立ち上げて外部の人からも意見を聞きながらこういうのがいいのではないかというようなことでやっていますし、当然その後は地元の人が一生懸命にならないと幾らつくったってだめだと思いますので、そういった地元の方々などの意識がこれから一番大事なのではないかということになると思います。

以上です。

○眞壁委員長 ほかございますか。

[発言する人なし]

○眞壁委員長 よろしいですか。

ほかないようですので、都市整備課の審査を終了したいと思います。お疲れさまでございました。ここで執行部入れかえのため休憩いたします。

休憩 午前10時50分

再開 午前10時51分

○眞壁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

◇

### ◎道路課の審査

○眞壁委員長 道路課の皆様がお見えですので、今後説明員として委員会に出席していただく皆様から自己紹介をいただきたいと思います。

課長のほうからお願いします。

課長。

(道路課出席説明員自己紹介。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

それでは、道路課の審査に入ります。

◇

◎議案第47号の上程、説明、質疑、討論、採決

○眞壁委員長 議案第47号 市道路線の認定及び廃止についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

○邊見道路課長 (議案第47号について説明。)

○眞壁委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。

各委員から質疑、ご意見等をお受けいたします。

吉成委員。

○吉成委員 以前にもこれはあったんですけども、道路の形状としては高低差なんかはこれは出るんでしょうか。

○眞壁委員長 課長。

○邊見道路課長 国際医療福祉大学病院側が若干高く、それで東側の県道が低いというような形が発生するかと思っております。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 今、説明ありましたように、今の国際医療福祉大学病院のところの駐車場のところの脇に川が流れておりまして、この川は勘定原堀というんですけども、勘定原堀というのが流れておりまして、国際医療福祉大学病院なんかの駐車場の排水はここに流している、調整池をつくって流しているんです。その川を境に田んぼがかなり低いんですね。2mぐらい下がっているんです。ですから、高さ的にはこの駐車場のところと田んぼのところと幾らか勾配をつけて、道路構造令でいきますと、最大10%程度、10%から12%なんですけど、その程度の勾配をつけてすりつけて、あとは現状の大体高さでということになっており

ます。

以上です。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 この道路を整備するという事は、当然国際医療福祉大学病院に緊急車両が入ると、そういった際に利便性を高めるためというのが最大の目的だと思うんですが、これ自体は国際医療福祉大学病院のほうからの要望があつてということで、こういった計画を立てたということになるんでしょうか。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 これにつきましては、平成25年度に国際医療福祉大学病院との意見交換会というのを行いました。その中で市からのお願いとか国際医療福祉大学病院からの要望がございまして、その要望事項の一つでただいま吉成委員のほうからお話がありましたように、緊急のときに前の道路がふさがったときには出られなくなってしまうというようなことで、両側から入れるようにというようなお願いできないかという要望を受けて整備するものでございまして、このほかにも市のゆ〜バスですか、これが玄関のところ、今までは道路の前でとまったんですけども、あそこの一部を改修して、病院の中を改修してバスも中に入れるようになったというようなこともございますし、そういった中で今度また2回目といいますか、7月に意見交換を行います。そういった中で出てきたものでございます。それに基づいて国の社会資本整備交付金事業ですが、その補助事業によって道路整備するものでございます。

以上です。

○吉成委員 了解です。

○眞壁委員長 ほかにございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 ないようですので、質疑、ご意見等

を終了したいと思いますが、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 異議はないものと認めます。

よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 ないようですので、討論を終結したいと思いますが、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 異議がないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決をいたします。

議案第47号 市道路線の認定及び廃止については、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 議案第47号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、その他に入ります。

その他で何かございますか。

吉成委員。

○吉成委員 市道ではないのでちょっとあれなんですけど、国道4号の整備ということで大原間地区内今行われているわけですけれども、ちょっと進捗状況をおわかりでしたらお聞かせ願いたいと思います。

○眞壁委員長 部長。

○若目田建設部長 大原間の歩道整備事業につきましては、国交省の管理第二課というところが担当してやっているんですが、なかなかそこからの情報というのが細かく市のほうに来ないというのが実情でございまして、市のほうからどうなっているんだと逆に聞くような状況なんです。

前に若松東征議員の質問にも説明させていただきました、いつできるんだというようなことでご

ざいますが、平成26年度の供用開始を目指しているというようなことで、ですから26年度、あるいは3月、今年度末だと思いますので、それには多分供用はおくれるという話は聞いてないのでできると思うんですが、その中で歩道橋があそこに駅前でございます。あの歩道橋につきましては、あそこを利用する人は比較的少ないということで、子供たちの安全安心のために向こうの大原間西アンダーの県道高林線のほうに向こうへ持っていくというようなことで考えているんですが、そういった中で、それもどうなっているんだとこの間うちのほうから聞きましたら、その打ち合わせにきょう来るんです。そのときに初めてこういうふうな計画ですよと示される状況で、それについては26年度末にはちょっと間に合わないで27年度ちょっとずれ込んでしまうかもしれないですねと私が確認した中ではそういうお話を受けています。基本的には26年度末の供用開始ということで置いているんだと思います。

なかなか目に見えてこないんですけども、700mぐらいですから始まればそんなにかからないと思います。

以上です。

○眞壁委員長 吉成委員。

○吉成委員 きょうの説明をいただければ多少なりとも先がどうか、進捗状況に関してはわかるということなんですよね。

あそこの区間は以前にも一般質問なんかで言ったことあるんですけども、非常に信号が多いわけですよ。なおかつ現在工事をしているという関係で、もう渋滞が時間帯によっては物すごいですよね。これまでも結構渋滞は朝夕あったわけですけれども、それにも増して今工事が入っていて、そういった状況があるものですから、そういったことを考えると、現実問題として明確になるのが

いつごろなのかというのは、きょう説明を受けた中で改めてまた情報をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。

○眞壁委員長 ほかございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○眞壁委員長 ないようですので、道路課の審査を終了いたします。

お疲れさまでございました。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時01分

○眞壁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を行います。

—————◇—————

#### ◎建築指導課の審査

○眞壁委員長 建設指導課の皆様がお見えです。今後説明員として委員会に出席をしていただく皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。課長。

(建築指導課出席説明員自己紹介。)

○眞壁委員長 それでは、建設指導課の審査に入りたいと思いますが、今回建設指導課の関係の付託案件はございませんので、その他に入ります。

その他で何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○眞壁委員長 その他ないようですので、建設指導課の審査を終了いたします。

大変お疲れさまでございました。

以上で建設部の審査が終了となります。

最後に何かございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○眞壁委員長 ないようですので、お疲れさまでございました。

執行部退席のため暫時休憩といたします。

休憩 午前11時04分

再開 午前11時05分

○眞壁委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

—————◇—————

#### ◎その他

○眞壁委員長 続いて4のその他に入ります。

事務局から説明をお願いします。

○人見議会議務局書記 (事務局説明。)

—————◇—————

#### ◎閉会の宣告

○眞壁委員長 これで今定例会における委員会の日程は全て終了いたしました。

本委員会の審査報告につきましては、私のほうで作成いたしますので、よろしくお願ひしたいと思います。

これをもちまして、委員会を閉会したいと思います。

お疲れさまでございました。ありがとうございました。

閉会 午前11時12分